

令和2年度第2回伊賀市スポーツ推進審議会会議録

日 時：令和2年9月30日（火）午後1時30分～

場 所：市役所本庁舎 4階406会議室

出席者：松寄敏之、坂口輝三、宮田久一、栗野仁博、福寿勇、山本志賀子、内田崇之、
辻喜嗣、樋口優子、山本いずみ、中森正一
宮崎企画振興部長、福森企画振興部次長兼スポーツ振興課長、岡本副参事
出山主任

事項1 あいさつ

2 会長・副会長の選任について

3 協議事項

(1) 伊賀市スポーツ施設再編・整備計画（素案）について

4 その他

・スポーツ振興課岡本司会進行

1 あいさつ

宮崎部長よりあいさつ

2 会長・副会長の選任について

引き続き、会長に松寄さん、副会長に宮田久一さんを選任

・松寄会長あいさつ

・14名中11名出席、3名欠席で委任状を提出いただいております、出席委員数の確認
を行い会議の成立を報告

2 協議事項

(1) 伊賀市スポーツ施設再編・整備計画（素案）について

(事務局) 前回の会議で利用人数や指定管理料などについて最新の数字を載せるとお伺
いしましたので、今回は、令和元年度の数字も載せております。

あと学校開放の状況も載せております。

それから、「見るスポーツ」という部分ですが、今は「するスポーツ」に重点が
置かれているので「見るスポーツ」についても入れて欲しいということでした。ま
た基本的な考え方のところ、将来に向けて大きなことを入れてはどうかというご
意見をいただきました。

まず、資料の2ページをご覧ください。

2 計画の位置付けの部分ですが、前回は伊賀市が管理運営するスポーツ施設ということで、他課で持っている施設も視野に入れながらという話をさせていただきましたけれども、そこを少し明確にさせていただいたということで、対象とする施設としては、まずは競技専用のスポーツ施設としております。そしてその下に視野に入れる施設として学校の体育施設や民間の施設、県営の施設という形で、少し整理をさせていただきました。

次に4ページをご覧ください。多様なスポーツニーズという中で、前回のところでは、スポーツをするというところに重点が置かれて書かれていたということで、最後のところだけになります。全市民がより高い技術を間近で見ることができる「見るスポーツ」の振興を図るための施設ということを追記致しました。

次に8ページをご覧ください。(2) スポーツ施設の配置状況が空欄になっておりますが、A3で作成をしました。ここに貼り付けると小さくなるので、今回は別にさせていただきました。伊賀市の体育施設がどこにどのようなものが配置されているのかという現況図で示させていただきました。

次に10ページです。ここには新たに市内小中学校の学校開放の利用状況の表を追加しました。3年度分になります。グラウンドと体育館で年間どれくらいの利用があるのかということで、2019年度につきましては、グラウンドの利用が約5万5千人から5万6千人、体育館は13万5千人の利用があるという状況を追加しました。

それから11ページも新たに追加させていただいた表になります。近隣のスポーツ施設の状況ということで、参考となる数字を入れてあります。特に、伊賀市とよく似た状況のところ、人口9万人、6市町が合併したというところ、いきますと、滋賀県の甲賀市がより近いのかなということで、比較をさせていただいております。市の面積とか成り立ちは違いますが、単純に数の比較をさせていただいております。大きく異なりますのは、多目的グラウンドが甲賀は3つですが、伊賀市は10ある、テニスコートについても甲賀は3ですが、伊賀は6あります。あとゲートボール場につきましても同じようなことです。合計しますと、甲賀は17施設、伊賀市は33ということで、1カ所あたりの市民の数では、約倍の数字ということになっています。参考に見ていただければと思います。

次に20ページのスポーツ施設再編・整備にあたっての課題というところ。前回は(1)から(6)までになっておりましたが、少し整理をさせていただいた部分と、新たに1項目増やしております。順番も少し入れ替えております。(1)大会が開催できる施設の不足では、県大会ができるような会場がないということで前回は書かせていただきましたが、もう少し大きな大会ということで、「本市を活動拠点とするスポーツチームの練習・活動等に対し、試合会場や練習会場となる施設の環境整備が求められています」と追加させていただきました。そして、「施設

の質・機能の向上」という項目を設けまして、駐車場や会議室、冷暖房の不足やユニバーサルデザインに関すること、さらに今年度の12月から水銀灯の製造、輸入等が禁止されますので、そのことをあげております。

次に22ページの第3章の1、施設再編・整備の基本的な考え方のところ、見るスポーツのことを少し入れさせていただいたのと、総合的な運動公園も必要であるということも入れました。ここは少し文言の修正をお願いしたいのですが、「快適にスポーツを観戦できる環境づくり、更にはスポーツによる交流人口の拡大に向けた施設の整備を進めていきます」としていただきたいと思っております。

また、市民アンケートにもあるように、十分な駐車場があり、多種類の施設を集中配置した総合運動公園も検討していきます、というふうに、基本的な考え方ですので、修正をお願いしたいと思います。

次に23ページが一番上の部分ですが、その少し「見る」ということに触れて追加をさせていただきました。

大きな修正は以上になりますが、基本的な考え方につきましては、生涯スポーツ都市宣言を行っていることにも触れて、もう少し膨らませていきたいと考えております。以上でございます。

(会長) はい。前回の意見も取り入れていただいて、修正・追加をしていただきました。数字についても最新の数字を入れていただきました。まず、今の説明でご質問ある方、お願いしたいと思います。

(委員) 訂正をお願いしたいんですが、A3の地図に施設名を図示していただいてあるんですが、正式名称は上野運動公園競技場ですので「陸上」をカットしていただきたいと思っております。

それと、今回、近隣市におけるスポーツ施設設置状況を付けていただきまして、大変分かりやすいかなと思います。先程説明で比較がありました甲賀市なんですが、野球場もサッカー場もあると思うんです。どちらかというと甲賀市の方が施設が多いイメージです。野球場は2軍のプロもできる施設があったと思います。サッカー場も3面あったと思います。

(事務局) 今回は設置場所で記載してあるので、サッカー場など面で書くのであれば変えないといけませんね。

(委員) 多分野球場はあると思います。

(委員) 総合運動公園の隣に大きな野球場ありますね。

(委員) あと滋賀県の特殊事情ですが、乗馬が多いんですよ。スポーツの種類が多いです。

(会長) では修正をお願いしたいと思います。ここは個所数なので、数が多いから良いとか悪いとか言えないのでね。他にご質問ございませんか。

では、あまり分けることはできませんので、全般をとおしてご意見ありましたらお

願います。

(委員) 17ページの維持管理経費ですが、運動公園競技場とか野球場とかいろいろな施設があって管理棟がひとつになってるんですけど、経費の分け方はどうなっているんですか。

(事務局) 一体管理する中で、大きな部分で委託料だとか光熱水費だとかは競技場別に分けることができます。人件費など分けられないものについては、個数の按分という形でさせていただきました。

(委員) 個数の按分？

(事務局) 上野運動公園ですと、野球場、サッカー場、テニスコート、武道館にかかる人件費はいくらというのが出てるんですが、それを施設で按分した形です。分けられるものと分けられないものがありましたので、大きく分けられるもので金額の大きいものは、その施設に入れさせていただいています。

(委員) 分かりました。

(委員) 希望でもいいですか。30ページの阿山第1運動公園グラウンドで、今後見込まれる整備事業・実施時期のところですが、あそこは人が大勢集まるイベントをするとトイレの水が出なくなって使えなくなります。10年ほど前からずっとです。施設にいる文都の人は分かってくれてますが、その都度トイレの数を減らしたりしていますが、阿山の体育まつりなんかをすると水が出なくなります。継続していただくにあたっては、前期の整備事業に入れてもらえたらありがたいです。

(事務局) 屋内ゲートボール場の横にあるトイレですか。

(委員) そうです。管理棟と野球場の奥にもひとつありますが、全部使えなくなります。受水槽が小さくて貯めてある水が無くなってしまうんだと思います。

(事務局) 管理棟の上にありますっけ。確認しておきます。

(事務局) 阿山については、前回も少し言わせていただいたんですが、民間での活用を阿山支所で検討しています。そこの整合を加えた表記に変える必要があるのかなと思います。

(会長) ほかどうでしょうか。

(委員) 34ページの緑ヶ丘テニスコートですが、教育委員会との話になるかと思いますが、緑ヶ丘中学校のグラウンドは異常に広くて、現在6、7割がた草が生えています。もう少し狭くして、ここへ施設を作るとかは考えられないのかなと思うんですが。昔は緑ヶ丘中学校で陸上競技大会をやってたんですが、今は名張でやります。せつかく広い土地なので、施設を作るとか有効活用できないのかなと思います。

(事務局) 今回の計画は2ページの計画に位置付けにもありますように、市がスポーツ施設条例で管理している専用施設を対象として再編を検討するようになっていきます。学校施設も地域スポーツを振興する上で欠かせない施設にはなっているんですが、そこらの位置づけはしっかり書くとしても、学校施設のあり方まで踏み込んで

いくと計画の範囲を超えてしまう可能性があるかなと思います。

ただ、おっしゃっていただくように、22ページの基本方針では、スポーツ振興と施設での視点の記述が少しほしいかなと思います。見るスポーツの視点は入れていただいたんですが、スポーツ振興をしていくうえで、地域スポーツと競技スポーツという視点が大きく出てくるのかなと思いますし、体育施設条例はどちらかというと競技型の専門的なスポーツというのが対象としているところですけど、地域スポーツを支えているのは、やはり学校施設ですので、学校施設開放との両輪でスポーツ振興は回っているわけです。ですので、スポーツ振興の視点と今回の再編ということも加えておくことも必要なかなと思います。

(委員) 今言ってくれたスポーツの振興ですが、41ページに「計画の進行管理及び推進」ということでそれらしきことは書いてくれてて、私はスポーツ推進委員をさせてもらっているんですが、ここはまさにスポーツ推進委員の本来の仕事かなと思っています。

今までは市のイベントの応援が主な業務になってまして、本来の仕事がなおざりになっているかなと反省しているんですが、最近、いろいろな競技の講習会等を開催して、それを地域に持ち帰って、各地域での推進をするために今いろんな活動をさせてもらっています。その中で、スポーツ振興課も、段々職員が少なくなってきた、スポーツ推進委員も当面の課題で減少するという話を聞いているんですが、本当にここに書いてある項目をやっていこうと思うと、その辺の見直しが必要になってくると思うんです。せっかくいろんな設備があっても、どのように活用するか、市民にどのように利用してもらおうかという段取り役が我々ですので、市とスポーツ推進委員が一体となってやっていかなければならないのではと思います。これからは、設備よりもこれに取り組んでいかなければと思っておりますので、その辺も一度お考えをいただけたらと思います。

(事務局) ありがとうございます。実は、3年くらい前にスポーツ振興計画という10年間の計画がありまして、地域内でのスポーツをどう振興していくかという計画が失効いたしまして、その後作ったのが、生涯スポーツ都市宣言という宣言です。この宣言をより具体的に振興していくという計画ができていないわけです。先に施設をしてしまいましたが、その振興計画もこれと合わせて作っていく必要が確実にあると思います。地域スポーツと競技スポーツの両輪で、誰がどこでどういう活動をして、それを支え振興していくのか、そういうところをしっかりとやっていく必要があります。その中には、皆さん方が今出ている団体の協力を得ながら作り上げて共同でスポーツを振興していくという計画が、生涯スポーツ都市宣言を具体的に支える計画として作りたいと思っております。

(委員) 今スポーツ少年団をやっていますが、指導者の資格を取るのに大変お金がかかるようになってきました。そうなる個人で取ろうという人がだんだん減ってき

ています。そこらの補助を考えていただけるといいかなと思います。子どもたちにいろいろな経験を積ませたうえで、スポーツをやってほしいので、続けられるようにしていかなければなりません。施設にあり方同様に、人づくり、指導者づくりというのもその中に入れて欲しいと思います。

(事務局) 人材育成ですね。今、いろんな施策で横断的な取り組みが必要になってきてまして、生涯学習課や健康づくり推進課、もちろん学校教育課もですが、横連携をしながら、その中で人材育成などの横断的な取り組みが必要になってきますし、また振興のソフトの計画を作っていくときに、今いただいたような意見をしっかり反映するようにしたいと思います。

(委員) お願いします。

(委員) いろんなスポーツを経験してきましたが、今はゲートボールを中心にしております。以前は体育推進委員も経験しておりまして、ゲートボールについて言わせてもらおうと、しらさぎの多目的グラウンド、阿山のゲートボール場2面、ものすごく利用率が高いと思います。そこで、しらさぎの屋外の2面ですが、せっかく作っていただいたんですが、草が生えてしまっています。屋根があれば使えるんですが、伊賀市は9面の屋内があるので行事も毎年消化しきれています。ありがたいと思っているんですが、そんな中でこの屋外のコートは多用途への変更と書いてあるんですが、せっかくあるゲートボール場ですので、ゲートボールができるような設備にしていただけたらありがたいかなと思います。ほとんど利用がないと、この前事務所の方に伺いましたが、皆さん方のご意見も伺って、進めていっていただきたいと思います。

(会長) あまり使用頻度がないので特に雑草がひどいと思います。あのコートをどうするかもひとつの大きな課題だと思います。

(事務局) あそこを作ったときには、全国的な大会をしようと思うと、11面必要ということ言われたので、屋内には9面しかとれなかったものですから、屋外に2面作らせていただいたという経緯があります。しかし、作ってから去年、一昨年くらいに利用があったくらいで、それ以外はないという状況です。ですので、あのままではもったいないなと思い、多用途への変更と書かせていただきました。また個別な交渉にもなるかと思いますが、本当にあそこに2面必要かどうかという部分は協会さんとしてどうお考えなのかというのもあるので、そういうところも聞かせていただいて、ゲートボールで使えるような施設への転用にするのか、オールラウンドに使えるようなものにするのか、そこに集まってくる人の休憩所がないからそういう施設にするのかとか、ご相談をさせていただいて検討していきたいと思っています。

(事務局) 9ページを見ていただくと、利用者の数が少ないですね。平成30年度で25人、昨年度は6人使われているだけです。屋根がないから少ないのかということこ

ろもあるんでしょうが、どうするか。防災公園を兼ねてるというところもあるので、災害時との兼ね合いも考えなくてはいいませんが。

(委員) 草刈りとかの管理も誰がするのか。

(事務局) それは体育施設としてそこも位置付けられているので、管理を委託しております者が行うこととなります。見られたときは草が生えてたかもしれませんが、管理はしていると思いますので、また指定管理者の方にも管理の徹底を申し伝えておきます。

(委員) レクリエーション委員ですが、最近スポーツ推進委員さんと一緒に、障がいのある人もできるスポーツということでボッチャを企画したりカローリングやスポーツ吹き矢をやったり、研修会、大会、講習会など、いろんな形でやらせてもらっています。そこで一番困るのがトイレです。実際に障がいのある人に来てもらおうとすると、バリアフリーがしっかりしてないと、行事そのものがその場所でできない、来てくれている人がトイレで困るというよりは、それ以前に、この会場は使用できないとなるところがいくつかあると思います。市民体育館も、中心施設になると思うんですが、そういう施設がない。大山田B&Gの体育館は改修をされて、改修をするときに、実際に障がいがある人に施設に行ってもらって意見をもらいながら進めたということをしてきてくれました。それはスポーツ推進課さんでやってもらったと思うんですが、バリアフリーのスポーツができるような設備の推進というのも必要で、いざ実際にやってみると会場を探すのに苦労するという現状があります。

(事務局) この計画の基本的なところには、そういうことも少し触れてありますが、個別のところには入っていないのかなと思いますので、どういう施設にまた個別に考えていきたいと思います。決して計画の中にその視点がないというわけではないのでご承知おきください。

(事務局) 確かに、それぞれ個別のところにはバリアフリー状況の評価をしてありますよね。おっしゃっていただいた市民体育館なんかは評価がCとなっていて、段差対応も多目的トイレもないです。これは計画的に改修していく必要があるのではないかと思います。他にもC評価の施設については改修対象であると、基本方針の中であげてあるとおりでということ、何とか計画的にやっていきたいと思います。

(委員) 2021年度から2030年度までの整備計画ですが、費用は、44ページに書いてあるように、2020年度から2050年度までのライフサイクルコストが平均で年5億円。ということは、2020年度からは毎年5億年の投資をしていってもらえるということですか。

(事務局) これは伊賀市公共施設総合管理計画の抜粋で、現状の施設のまま、2050年度まで施設を減らしたり統合したりしないでやっていくとしたら、維持管理していく経費が年間5億円ずつかかってくるということです。ここだけ抜粋しているか

ら分かりにくいですが。

(委員) 2050年まで維持管理していく分も入ってるんですね。

(事務局) 維持管理していくのに、1年間で5億円もかかってしまいますよということです。

(委員) そうしたら、今のこの計画では、またコストをはじかなくてはいけないと思います。何をしてもコストがどれぐらにかかるとかということですが、それはこれからになるんですかね。

(事務局) そうですね。この計画で縮減したり新たに設置するコストはこのライフサイクルコストには入っていませんので、そこらへんはまた作っていかなければいけませんね。

(委員) 2050年度まで1年で5億円かかるとすると、30年間で150億円かかるんですね。減らすものは減らして、手を加えないといけないものは極力控えて、総合的に集中化した総合スタジアムができるだけの予算があるかの対比もしてほしいなと思います。ここにも書いてくれてありますが、ちょこちょこお金をかけるのではなく、どかんと大きな施設を作るということも重ねてお願いします。

(委員) 駐車場の関係なんですけど、それぞれの施設でどれくらいの駐車場スペースがあるのか確認していただいたんでしょうか。運動公園は、昔の体育館の跡を駐車場にするようですが、700人くらい来たら、乗り合わせて来ていただくように言っていますが、みんな車できます。駐車場係を置いてますが叱られっぱなしです。施設も大事ですが、それぞれの駐車場の状況も調べていただきたいと思います。

(事務局) 資料として付けさせていただきます。

(事務局) 決して駐車場が今のままで良いとは思ってないので、少ないところは対応していこうと思っております。現状については見える化して追加させていただきます。

(委員) それでいいかどうかまた検討してください。

(事務局) 資料の51ページをご覧くださいと、市民アンケートの結果ですが、④スポーツ施設の適正配置を検討する場合に重視すべき視点はこういったところだと思いますか、という質問で、十分な駐車場の確保できる場所という回答が一番多いわけですね。ご指摘いただいたように、駐車可能台数もしっかり入れて検討しないといけませんね。

(会長) 次のページの⑤を見てもらうと、ほとんど自家用車で来ていますからね。

(委員) 健康づくりの視点で見させてもらったところ、3ページの人口推移と人口構成ですが、もちろんこの30年の中で超高齢社会に突入していくと書かれております。また生涯スポーツ都市宣言の中で、高齢であっても生涯スポーツをしていくという中で、令和元年度の9月末現在で高齢化率が32.5%だったと思うんですが、15ページ以降の施設利用の利用者人数については、合計の人数は書かれているんですが、年齢構成のデータはあるのかどうか、もしあれば、推移と同様な形になっ

ているのかどうか、高齢者が使うことが多いのかなどのバックデータというのもつけていただくと、現状として非常に分かりやすいのかなと思います。

あと駐車場の問題もそうですが、超高齢化社会になっていく中で、運転できる人の数も今後どうなっていくのか、というところですね。運転できなくなる場合、そうならないために健康づくりをするというところもあるんですが、そのような運動性もあると思うので、年齢構成のデータがあると参考になるのかなと感じました。

(事務局) 受付時にも利用者の年齢は聞いていないので、年齢構成の資料は難しいです。

(事務局) 市民アンケートでは、10歳刻みくらいでとっているのですが、それをクロスさせれば、この競技は大体何歳以上がしているというような分析はできます。参考としては、市民アンケートの結果から、はっきりした数ではありませんが年齢別のスポーツ動向は探れると思います。

(会 長) 現実の施設では年齢構成を出すことはできないですが、アンケートで動向は見えるということですね。高齢者が使う率はかなり高いように思いますけどね。

(事務局) ゲートボール場なんかは、高齢者の利用率が非常に高い施設ですね。

(会 長) 今新設で進んでいるのは運動公園のプール跡地だけですか。青山がたくさん廃止の方向になってるんですけど、かわるところは今のところはないですか。

(事務局) 新設で進んでるのは、そこだけです。

(委 員) あそこも人工芝の予定がいつのまにか土になってしまって、人工芝には戻らないんですかね。

(事務局) 他の部分の整備との兼ね合いが課題として出てきておまして、見るスポーツの拠点として使うかとか、競技場を総合的にどうするのかという視点での兼ね合いがでてきております。

(委 員) 三重県内にある人工芝のグラウンドの数は伊賀市は少なく、よそは増えてきています。

(委 員) 維持管理は長い目で見たら人工芝の方がよっぽど良いです。

(委 員) 雨が降っても使えますしね。

(事務局) 人工芝グラウンドは計画してることはしてるんです。

(委 員) 今、まさにサッカー界が変わろうとしてまして、女子サッカーのプロ化に伴って、スタジアム基準が非常に厳格になってきました。ちょっと改修というだけで済めばいいんですが、三重県自体が施設に対する整備が遅れてきたのかなと。プロ野球もJリーグもできないという県ですので、今日本サッカー協会から求められている施設基準に合致した競技場は三重県にはございません。その中で、伊賀市さんと協議をしながら、うまいことできないかと話し合いを進めているところです。いづれにしても女子サッカーを強化していくのも決定していますし、この地で50年近くやってきた女子サッカーの中で一番古い球団でありますので、火は消したくないなど、皆さんと前へ進めて行きたいなと思っておりますので、スタジアムの整備

の方も、市におんぶにだっこというわけではなく、いろんな意味で共同しながら皆さんと良い形で作れたらいいなと思っているところでございます。特に何か決まったということはないんですが、現状をお話しさせていただきました。

(事務局) 新たな整備をしていくには、まずこういった計画がしっかりあること、先ほどからもご指摘いただいているように、ライフサイクルコスト、あるいは長寿命化計画がしっかりとあること、こういうのがやはり条件となってきます。

今皆さんのお力をお借りして、ライフサイクルコストが安くなれば、年1億円安くなれば、10年で10億円というお金が出てくるわけですし、今は他市に比べてスポーツ施設を多く抱えすぎてるがゆえに、なかなか整備費も回していけない、分散してありますので、そこが課題になっています。こうしたものをしっかりと作ったうえで、整備すべきものは整備するという形で進めていきたいと思えます。

(会長) いろいろご要望あると思えますので、この場を出していただいてぜひ計画に盛り込んでいただいて進めていけたらと思えます。

(委員) 施設もですが、人も大切に、スポーツが好きになれる環境を作してほしい。

(委員) この現況の地図ですが、どこに施設があるのか分かりにくい。

(事務局) 主要国道とか鉄道とかを入れるようにします。駅名とか。

(会長) 道路が入ったらいいですね。

(委員) 1枚にしなくても良いのでは。旧市町村ごとにページを変えてはどうか。

(事務局) 市内で分散しているというのを分かってほしい。

(会長) 他にいかがでしょうか。次回で素案は最終の取りまとめになりますので、ぜひ今日たくさんの人にご意見いただきたいと思えます。

(委員) もうひとつお願いします。阿山第2運動公園のグラウンドですが、人工芝化も視野に継続と書いてくれてありますが、伊賀には少ない芝のグラウンドのひとつですので、人工芝化を検討してくれるのであれば、第1運動公園の方に芝を張ってもらいとありがたいです。さみしいながらも一応芝でサッカーもできてますので、くノ一さんも練習してくれてますので。

(事務局) 阿山の第1は野球もよく使われていますよね。それがちょっと気になるんですが。

(委員) 定期戦はしてるみたいですけどね。あそこは駐車場も多いし、ゆめが丘の芝生化も話が出てますが、あそこは駐車場が厳しいですよ。そういうところから考えたら余裕があるのはここではないかなと思うんですが。

(事務局) 人工芝化はどこかでは考えていますけど、先ほどからもありますように、阿山の施設は一体的に考えてることがありまして、その方向性にもよってくるので、今ここでどうこうということが言えないんですが、おそらくその施設の中では、人工芝グラウンドはどこかには必要だというような進め方になっていますので、どちらになるかは分かりませんが。

(事務局) 29ページを見ていただきますと、ゆめが丘多目的広場と書いてあるところの、今後見込まれる整備事業というので、何とか早期に人工芝化工事というのを位置づけております。これがまずありまして、民間と行っている調査の中でどうなるか、阿山支所と進行状況を見ながら、どういう位置づけにしていくなか検討させていただきます。

(委員) ここに書いてる照明機器というのは自動車の照明機器ですか。改修と書いてくれてありますが今はないので新設ですかね。

(委員) ひとつだけお願いがあるんですが、25ページの上野運動公園競技場の今後見込まれる整備事業にところに、青い枠で女子サッカープロ化施設基準の検討と書いてくれてありますが、できたら前期の方に検討を押し込んでいただけると見栄えもいいかと思しますのでよろしくお願いします。

(会長) あとお気づきのところないですか。なさそうですので、今までいただいた意見を次の案に反映していただくということで進めていってよろしいでしょうか。

それではその他に項に移りましょうか。何かありましたらよろしくお願いいたします。

次回の開催はどうですか。

(事務局) 次回ですが、10月23日の午後で考えております。正式な日時と場所が決まりましたらご案内差し上げますのでよろしくお願いいたします。

(会長) はい。それではすべての議題が終わりましたので、本日はこれで終了させていただきます。ありがとうございました。